

スポーツって楽しい!

スポーツは、自分でするのはもちろん、観戦やそれ以外にも、さまざまな楽しみ方があります。今回は、市内に練習場があり、春日部市と協定を締結している越谷アルファーズの選手やコーチにスポーツの魅力についてお話を聞きました。

四家選手に聞きました

魅力あふれるプロスポーツを120%楽しむ方法

皆さんの応援が選手の力になります!!

春日部市内にはクラブハウスと練習場があり、アイル・アリーナウイング・ハット春日部で試合をすることもあります。やはりうれしいのは試合中に応援してもらえること。皆さんが思っている以上に声援は選手に届いています。試合中に僅差だったり、苦しい展開だったりするときには、「頑張って!」の声援が励みになって力が湧いてきます。応援の仕方も自由なので、まずは気軽に試合を見に来てください。会場でしか味わえない雰囲気やグルメでもなんでも、自分なりの楽しみ方を見つけてもらえるとうれしいですね。

進化しているプロスポーツの楽しみ方

アルファーズの応援に来たら、オフィシャルグッズ『ネギばんばん』で選手と観客との一体感を感じてみて。また、最近他のスポーツ試合でも充実しているハーフタイムショーも見どころの一つ。アーティストや芸能人がパフォーマンスで会場を熱く盛り上げてくれますよ。特製弁当などのグルメで試合前に腹ごしらえも。



越谷アルファーズ 四家 魁人選手
2001年福島県出身。バスケットボール強豪校の福島南高校卒業後、アメリカ留学しフェアモントステイト大学でプレー。2023年から宇都宮ブルックスに所属。2024年6月、越谷アルファーズに移籍し、チームの司令塔ポイントガードとして活躍中。

四家選手が感じる

こんなところにもスポーツの力

試合以外でも子どもたちに夢や希望を与えられたらと思い、あいさつ運動に参加しました。試合を見て僕のことを知ってくれていた子が話し掛けてくれたのもうれしかったです。

あいさつ運動



児童・生徒の登校時間に合わせてプロ選手があいさつの声掛けをする運動。地域の学校の子どもたちと直接触れ合うことで地域に夢や希望を与えたい、という越谷アルファーズの思いから実現。本年度は市内20校で実施しました。

チャレンジする楽しさを子どもと一緒に見つけよう

スポーツが身近にある春日部市

春日部はスポーツに触れる機会がとて多いと感じます。アイル・アリーナウイング・ハット春日部で体を動かすお母さんたちをよく見かけますし、連携協定を結んでいるプロスポーツチームとの取り組みの他にも、児童館のイベントや軽スポーツ体験など、子どもからシニアまで幅広い年齢の人向けの取り組みがありますよね。私自身、広報かすかべを見てイベントに参加したことがあります。スポーツを通じて受ける影響がたくさんあるので、やろうと思えばいつでも参加できる環境は魅力的なことですね。

同じ子育て中の親として伝えたいこと

選手としても応援する側としても、スポーツはまず楽しむことが大事だなと思います。越谷アルファーズバスケットボールアカデミーの親御さんによくお伝えするのは、まずは子どもたちが

楽しんでる姿を見守ってください、ということです。失敗しても「大丈夫、次頑張ればいいじゃん!」と応援してあげられるといいですね。そういった経験の積み重ねが子どもにとって自信になり、成長につながりますよ。

まずは楽しむこと、失敗してもOK



元女子バスケットボール日本代表 春日部市在住 子育てママ 小磯 典子さん
オリンピック2大会(アトランタ・アテネ)に出場。現在は越谷アルファーズアカデミーコーチに就任するなど、選手の育成やスポーツ全体の普及にも携わっている。

小磯さんが感じる

こんなところにもスポーツの力

観戦の際は選手の筋肉や汗が滴る様子など、会場で熱気と迫力をリアルに感じて。試合が白熱しているとき、選手は暗闇の中で綱渡りをしている感じ。そんなときに声援が聞こえると、一本の光が差ってきてパワーがみなぎります。ぜひあなたの声を届けてください。応援しているうちにストレス解消効果も。

春日部市とプロスポーツチームとの連携協定の取り組み

- 事例1 春スポふれんず
卓球やバスケットボールのプロ選手やコーチたちと一緒に、スポーツの素晴らしさ、体を動かす楽しさを子どもたちに体感してもらいます。
- 事例2 ベ이스ボールクリニック
埼玉西武ライオンズから講師を招き、野球教室を開催。子どもたちの技術力向上と心身の健全育成を図り、地域交流につなげています。
- 事例3 バスケットボール寄贈
越谷アルファーズから、市内小・中・義務教育学校へバスケットボールを寄贈。運動の機会を創出しています。
- 事例4 試合に無料招待
越谷アルファーズやT.T彩たまでは、スポーツを見る機会の創出のため、市内の子どもたちを無料招待する企画を実施しています。

もっと知りたいと思ったら

春日部市と連携協定をしているプロスポーツチームの詳しい情報はこちらから。気になる選手や試合の様子をチェックしてみてください。

埼玉西武ライオンズ	T.T彩たま
さいたまブロンコス	越谷アルファーズ

自分で運動したくなったら

春日部大風マラソン大会	春日部市スポーツ少年団
北海道や沖縄県からの参加者もいる大会。江戸川堤防を走る平たんコースで初心者の方にもおすすめ。ボランティアの皆さんと作り上げるアットホームさも魅力の一つです。	野球・剣道・ソフトボール・サッカー・柔道・ミニバスケットボール・バレーボール・ソフトテニス・器械体操の9部会51チームが活躍中。県内でも春日部市は団員が多く、現在も増加中です。

